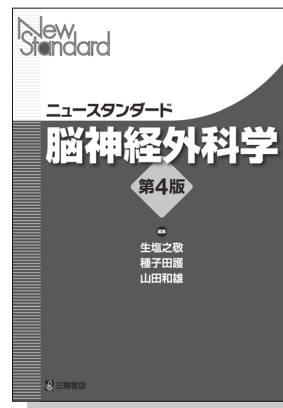


ニュースタダード脳神経外科学 第4版

編集：生塩之敬，種子田護，山田和雄

阿部 弘

北海道大学名誉教授



まずは、本書が2003年に発刊されてから約15年後の今日に、第4版の改訂版が出版されたことに敬意を表したい。それは、十数年にわたって読者から支持され続けたことと、脳神経外科の急速な進歩を伝えたいという編著者の熱意によるものである。

以下、本書を読んで印象に残ったこと、気がついたことを箇条書きにして述べたい。

〈第1〉は、症候・診断画像・手術などのイラスト・写真を含めた図・表が多いことである。これらは一目で内容を理解しやすく、読みやすくする基本である。

〈第2〉は、各項目のタイトルが黒字一色ではなく、赤字でも記載されていることである。単調にならず新鮮で印象づけやすい。

〈第3〉はポイントとなる事項を「メモ」という形をとってまとめ、文章の背景全体がピンク色となっ

ていることである。重要なことが要領よくまとめられていて理解しやすい。

〈第4〉は、学会のガイドライン、診断と治療の手引き、診断基準などの最新情報が掲載されていることである。

〈第5〉は、実際の症例の供覧がなされていることで、これは興味をもって臨床像を理解するうえで、きわめて効果的である。

執筆陣は、それぞれの領域や疾患における権威の先生方が揃っている。そして、内容は詳細ながらも理解しやすく、基本的事項はしっかりと記述されていて、しかも最新情報が盛り込まれている。驚いたことに、執筆者間で内容について厳密な審査も行われたと聞く。これほどまでに推敲した内容の教科書が他にあるうか。

「脳神経外科の歴史」の項目には、貴重な写真が掲載されていて

興味深い内容である。ここは読者の息抜きとして楽しめる項目なので、もう少し長い記載でもよかったと思われる。

最後の132題に及ぶ「演習問題」は素晴らしいアイデアで、医学生や研修医などの知識の整理に非常に役立つものである。

本書は、編著者の熱意とアイデアにあふれた脳神経外科の優れた教科書である。すべての医学生および脳神経外科の研修医の必読の書である。さらに、医療に携わる他の領域の人々にとっても、脳神経外科を理解するうえで格好の書であると強く推薦したい。

●定価（本体7,000円＋税）
B5版，586頁，三輪書店